

地方自治の発展に貢献



▲伊東豊さんの代理で、佐藤博北秋田地域振興局長から伝達を受ける長男の郷美さん

●伊東豊さん高齢者叙勲を受章

旧阿仁町議会議員として地方自治の発展に貢献された伊東豊さん（88歳・伏影）が、このほど高齢者叙勲の旭日単光章を受章し、7月2日に市役所で叙勲の伝達式が行われました。伊東さんは、昭和44年7月に旧阿仁町議会議員補欠選挙で初当選以来、平成3年10月まで連続6期22年の長きにわたって在職し、その間、産業建設委員長などを務められ、地域の発展に尽力されました。伝達式には、病気療養中の豊さんに代わり、長男の郷美さん（63歳）が出席。郷美さんは「父が受章できたのは、地域の皆さんが支えてくれたおかげ。支えてくれた方々に感謝したい」と述べました。

ふるさとの川に親しむ



▲手作りのいかだで米代川を下る、鷹巣東小学校の児童たち

●鷹巣東小学校いかだ下り

鷹巣東小学校（佐藤修校長）の4年生から6年生までの児童34人が、7月5日に同校近くを流れる米代川でいかだ下りを体験しました。同校のいかだ下りは、ふるさとの川に親しもうと毎年7月に開催している恒例行事です。児童たちは、ライフジャケットを身に付け、タイヤチューブと板、竹の棒などを組み合わせて作ったいかだに乗り、向黒沢の川岸から約2キロ下流のゴールを目指しました。好天に恵まれたこの日は、川の流れも穏やかで、児童たちははゆつくりと流れるいかだでオールをこいだり、水辺の景色を眺めたりしながら、思い思いのペースで川下りを満喫していました。

全国で10位以内を目指す



▲津谷市長に全国大会での目標を述べる、鷹巣南小学校の児童

●鷹巣南小児童が自転車県大会優勝を報告

第43回交通安全子供自転車秋田県大会で優勝した鷹巣南小学校（庄司邦昭校長）の児童が、7月3日に市役所を訪れ、津谷市長に大会結果と全国大会出場を報告しました。同校は、団体の部でAチームが優勝し、統合前の竜森小学校から数え20年連続21回目の全国大会への出場を決めました。この日は、団体の部に出場した8人の児童が訪れ、「全国大会では10位以内を目指してがんばります」と声を揃えて決意を述べると、津谷市長は「チーム一丸となって頑張ってきてください」と激励しました。全国大会は、8月5日に東京都内の東京ビッグサイトで開催されます。

日頃の訓練成果を披露



▲小型ポンプ操法の部で、正確かつ機敏な動作を披露する団員

●市消防訓練大会

平成27年度北秋田市消防訓練大会が、7月12日に合川農村環境改善センター駐車場で開かれ、市内の14の分団と女性消防団から合わせて289人が参加し、日頃の訓練の成果を披露しました。訓練大会は、消防操法を習熟し、消防力の強化を図ることを目的に毎年開催しているものです。規律訓練と小型ポンプ操法の部には、鷹巣地区2隊、合川・森吉・阿仁地区から1隊、ポンプ操法の部には、各地区から1隊ずつが出場し、操法と動作の正確さや機敏さを競いました。炎天下の下、団員たちは、きびきびとした動作で訓練の成果を発揮し、詰めかけた家族や他の団員から大きな拍手が送られていました。

光と音の供宴に酔いしれる



▲色とりどりの花火が次々に打ち上げられ、観衆を魅了した花火大会

●第24回米代川花火大会

第24回米代川花火大会が、7月11日に米代川河川敷公園を会場に開催され、多くの見物客が光と音の供宴に酔いしれました。大会は、平成3年に鷹巣中央公園桜まつりのメインイベントとして36年振りに復活し、その後、会場を米代川河川敷に移して開催しています。午後7時30分、開始の号砲を合図に4号から10号の割物花火、華やかなスターメインなどが次々と打ち上げられ、漆黒の夜空を華やかに彩りました。最後の「躍進する北秋田、新たな時代を夢をのせて」と題したスペシャルスターメインでは、色とりどりの連射花火が夜空を焦がし、会場からは大きな拍手と歓声が沸き起こりました。

販売促進に向けて取り組み強化



▲北あきたバター餅の販売促進に向けて、学習を深めた講習会

●日本バター餅協会総会・講習会

日本バター餅協会（村井松悦会長）の平成27年度総会が、7月2日に交流センターで開かれました。総会で村井会長が「設立から3年が過ぎ、いよいよ真価が問われる年です。味やパッケージの改善に取り組み、消費者に飽きられないようにしたい」とあいさつ。議事では、事業報告、収支決算報告が行われたほか、事業計画や収支予算が承認されました。総会後には講習会が開催され、「あきた企業活性化センター」デザイン相談員の鈴木弓子さんと「秋田県よろず支援拠点」サブコーディネーターの柿崎博美さんを講師に、北あきたバター餅の販売を促進するための手法などについて、学習を深めました。